JETRO
日本貿易振興機構(ジェトロ)

J-StarX

PropTech & Mobility Program (Toronto)

トロント（カナダ）ハウジング/建設テック＆モビリティコース

募集要項

応募締切：2025年8月15日(金) 17:00（JST）

J-StarX

INDEX

00 | はじめに

01 | コース概要

02 | プログラム構成

03 | スケジュール

04 | 対象者・応募要件

05 | 費用負担

06 | 選考プロセス・基準

07 | 応募方法

08 | 注意・免責事項

09 | 問合せ先

00 Introduction ｜ はじめに

カナダの社会課題

カナダは人口が4,100万人（日本の約1/3）ですが、年間40万人以上の移民を受け入れる移民国家。カナダの人口増加率は年率1%前後、主要先進国でトップレベルで、特に都市部では人口の増加が顕著です。特にトロント市はカナダで最も人口が多く(279万人）、北米ではシカゴと同規模で北米3番目の大都市です。人口が多いため、その結果、住宅の不足による不動産の高騰、渋滞、交通インフラの老朽化が問題となっています。

- 住宅問題：住宅問題は政府が解決すべき主要課題となっており、カナダは2031年までに150万超の新規住宅を必要としています。
- 交通インフラ問題：渋滞によりトロント市では年間11億ドルの機会損失があると言われており、スマート・トランスポーテーションへのニーズが高まっています。

このプログラムの目指すゴール

社会の喫緊の課題を解決する技術を有するスタートアップへのニーズが高まっており、業界の主要プレーヤー（**政府系住宅公社(CMHC)、トロント市営交通（TTC）、トロントピアソン空港、オンタリオ州車両革新ネットワーク(OVIN) 等**）からの投資又は連携したパイロットプロジェクトの実施、顧客獲得を目指します。

ハウジング/建設テック

- CMHCやVC等を通じた資金調達
- カナダでの初の顧客獲得、または顧客開拓

モビリティ

※北米での主要な交通機関であり、パイロット終了後は米国でも自社の技術力をアピールすることができます。

- TTC、GTAA、OVIN とのパイロットプロジェクトの実施
- カナダでの初の顧客獲得、または顧客開拓、資金調達

主要プレーヤー

ハウジング/建設テック

- **政府系住宅公社** (CMHC/ Canada Mortgage and Housing Corporation):
  カナダの住宅市場の安定化と住宅アクセシビリティの向上を主な目的とした、カナダ連邦政府系住宅公社。手ごろな価格の住宅の建設や供給のプロジェクトについて、様々な資金調達のプログラムを有している。

- **GroundBreak Ventures:**
  カナダの住宅・不動産業界の課題解決を目指すスタートアップ企業への投資と支援に特化したベンチャーキャピタル。カナダの住宅危機に対処するため、DMZとパートナーシップを組み、住宅供給を加速させる革新的なソリューションへの投資を行っている。

- **Center for Housing Innovation (CHI):**
  カナダの住宅供給不足と住宅危機への対応を目的とした官民連携のイニシアチブ。DMZが参画し、カナダ革新的で手頃な価格、健康的で持続可能な住宅ソリューションを推進している。

- **DMZ/DMZ Ventures:**
  カナダのトロント・メトロポリタン大学系の老舗スタートアップ支援組織。このプログラムの運営団体。これまで15か国以上で、2,450社以上のスタートアップを支援し、約3億ドルの資金調達をサポート。VCのDMZ Ventureを通じて毎年10社程度の投資（10万-250万ドル/件）も行なう。

モビリティ

- **トロント市営交通**（TTC/Toronto Transit Commission) :
  トロント市の主要な公共交通機関で、トロント市内及び近郊で、地下鉄、バス、路面電車を運営する総合交通システムを有している。2024年の平日の平均利用者数は約270万人で、北米ではメキシコシティ、ニューヨークに次ぐ規模。

- **トロントピアソン空港**（GTAA/Greater Toronto Airports Authority):
  2024年の利用者数は4,680万人で、カナダの空港では最大。50以上の航空会社が乗り入れており、180都市に運航している。

- **オンタリオ州車両革新ネットワーク**（OVIN/Ontario Vehicle Innovation Network):
  自動車産業が盛んなオンタリオ州で、自動車の技術とモビリティソリューションの開発と実証を支援する州の組織。2024年10月にメルセデス・ベンツとのMoUが発表され、自動車関連技術を有するスタートアップのインキュベーションプログラムが実施されている。

01 OUTLINE ｜ コース概要

目的

カナダの社会問題となっている①ハウジング/建設テック、②モビリティ分野でのカナダの主要プレーヤー・投資家・CVC等からの資金調達パイロットプロジェクトの実施、顧客獲得等を目指す。メンタリングやワークショップ、現地施設訪問や展示会参加などを通し、北米進出に必要なマインドセット、知識、スキル、リレーションを構築する。

1	カナダ市場の基礎知識、北米進出のためのマインドセット醸成
2	プログラムのゴール達成に向けた各社の戦略、アクションプラン構築
3	カナダの主要プレーヤー・投資家・CVCへのピッチ機会を通し、パイロットプロジェクトへの採択や資金調達・顧客獲得を目指す。

派遣先

カナダ・トロント

主な対象

対象企業	北米進出を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	プレシード～レイターステージ　※ミドル～レイターステージを優先
分野	①ハウジング/建設テック　または　②モビリティ
その他	• 海外展開における意思決定が可能な方（CXOクラスもしくは海外事業責任者の方）がプログラムを通じて参加が可能なこと • 北米市場への進出を目指し、東京（9月28日～10月3日）、トロント（11月23日～12月6日）での滞在が可能なこと

※渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください

02 PROGRAM STRUCTURE ｜ プログラム構成 – 全体像

※プログラムの実施内容・形式・日程等は変更になる可能性があります
※全日程、使用言語は英語となります

1 東京プログラム

9月28日～10月3日

【共通】

東京にてプログラムのオリエンテーション、Dメンターと一対一面談を実施し、各社に最適なメンターをマッチングする。

マーケットポジショニング分析、ハウジング/建設業界及びモビリティ業界それぞれの業界特性を学ぶセッションを経て、メンターと共に市場参入戦略の骨組みを構築する。

また、北米ビジネスの文脈を踏まえたプレゼンや交渉ができるよう、投資家ミーティングのロールプレーも実施する。

2 オンラインプログラム

10月6日 ～ 11月21日

【共通】

北米市場における現状のポジショニング、成長潜在性について個社ごとに更なる分析し、戦略を立案する。それを組み込んだピッチデックの作成に向け、業界に精通したメンターとの一対一メンタリングを実施する。

【ハウジング/建設テック】

・投資家からの資金調達確度を高めるためのワークショップの実施

・DMZパートナーであるCMHCやGBVが提供している資金調達機会について理解を深める

【モビリティ】

・メンターと共に、TTC、GTAA、OVIN向けのパイロットプロジェクトを開発する

3 トロント滞在プログラム

11月23日～12月6日

【共通】

・業界専門家によるセッション

・投資家や潜在パートナーとの個別商談

・デモデー

【ハウジング/建設テック】

・Canadian Real Estate & Construction Week（カナダの主要な建設分野の展示会）の一環として開催されるBuilding Showへの参加・キープレイヤーとのネットワーキング

・潜在協業/顧客先企業訪問

・CMHC資金調達プログラム、VCへのピッチ

【モビリティ】

・主要プレーヤー（TTC、GTAA又はOVIN）訪問及びパイロットプロジェクトへの参画に向けた経営層へのピッチ。その他主要な関係団体とのコネクト

※宿泊費はジェトロが参加者1名分、11月23日～12月6日を負担
（**11月23日より**トロント市内の宿泊施設に滞在）

4 フォローアップ（オンライン）

～2026年3月6日

【共通】

・DMZの持つグローバルなネットワークへの参加、ワーキングスペースの利用など、継続的なDMZエコシステムへのアクセス。

・（希望者に対し）DMZメンターや業界専門家によるメンタリング

・パイロットプロジェクトが採択された参加社、資金調達の機会を得られた参加社へのサポート

1 東京プログラム

北米進出に向けた基礎知識の理解およびマインドセットの構築を目的としてレクチャーを実施。一対一面談を通して個社ニーズを汲み取り、最適なメンターとマッチングする。トロント滞在を最大限有効活用するために必要な準備は何かを把握し、計画を立てる。

定員	10社（各社2名まで）
日程	2025年9月28日～10月3日（予定）※原則対面
概要	• **プログラム開講式** - オリエンテーション：本プログラムの全体像、目的、進行スケジュールについての説明 - 参加企業同士の交流および自己紹介セッション • **各種ワークショップ** - 北米市場の構造、法規制、文化的側面の理解 - ハウジング／建設業界およびモビリティ業界に関する業界レクチャー - 北米・カナダにおけるスタートアップ投資の動向と投資家が求める要素の理解 - 自社のマーケットポジショニング分析 - 北米展開に向けたロードマップと戦略立案 - 英語でのピッチ資料作成・プレゼン練習 • **1:1ミーティング（メンターとの個別セッション）** - 今後のメンタリングおよび支援方針の明確化 - 想定パイロット導入に向けた仮説の整理とディスカッション - カナダの投資家やパートナーとの面談を想定した英語ピッチの改善 - 各スタートアップの資金調達戦略の整理と、資金調達に向けた準備状況のチェック

2 オンラインプログラム

北米市場進出戦略を明確化し、それに向けた具体的なアクションプラン、ロードマップを個社ごとに構築する。北米の市場環境及び社会インフラ課題、カナダの法的、文化的、経済的概要についても学ぶと共に、投資家および潜在顧客向けのピッチの精度を高める。

定員	10社（各社2名まで）
日程	2025年10月6日(月) ～ 11月21日（金）（予定）
概要	**DMZ主催の各種ワークショップやメンタリング** - DMZチームおよびメンターによる各社の現状分析と成長戦略のレビュー - リードメンターとの5－10回の1on1メンタリング - 北米におけるターゲット顧客や販売チャネルの明確化等展開戦略の策定 - 英語ピッチのブラッシュアップ - 【モビリティ】TTC・GTAA・OVIN等の連携先とのパイロット準備 - 【ハウジング/建設テック】資金調達準備 - カナダの法制度・知的財産・税務・法人設立手続きに関する支援

3 トロント滞在プログラム

カナダのエコシステムに直接触れ、事業展開・資金調達・パートナーシップ構築の具体的な機会を得ることを目的としています。ハウジング／建設テック領域とモビリティ領域それぞれに特化した活動と、両領域合同でのネットワーキングやピッチ機会を通じて、最大限の成果を目指します。

定員	10社（各社1名まで）
日程	2025年11月23日（日）～12月6日（土）
概要	**【共通】** - DMZ主催Housing and Mobility Summit（デモデイ）参加：政府関係者・投資家・大企業に向けてピッチを行い、資金調達・パイロット導入・事業提携の機会を創出。 **【ハウジング/建設テック】** - 業界専門家とのセッションおよび投資家・企業との1on1ミーティング - CMHC資金調達プログラムや北米投資家に向けた準備・ピッチ実施 - The Buildings Show（Canadian Real Estate & Construction Week）参加 - ハウジング・建設関連企業への現地訪問・商談 **【モビリティ】** - 業界専門家とのセッションおよび投資家・企業との1on1ミーティング - TTC／GTAA／OVINとのパイロット導入に向けたセッション・面談 - TTC施設、GTAA（ピアソン空港）またはOVINの視察・訪問

J-StarX

4 フォローアップ

概要

【共通】

DMZからの継続支援

・トロント及び世界14か国のDMZエコシステムへのアクセス（ネットワーキングへの参加、ワーキングスペースの利用など）

・（希望者に対し）DMZメンターや業界専門家によるメンタリング

【カナダでのパイロットプロジェクトや資金調達の機会を得た参加社】

・DMZメンター、専門家によるファシリテーション

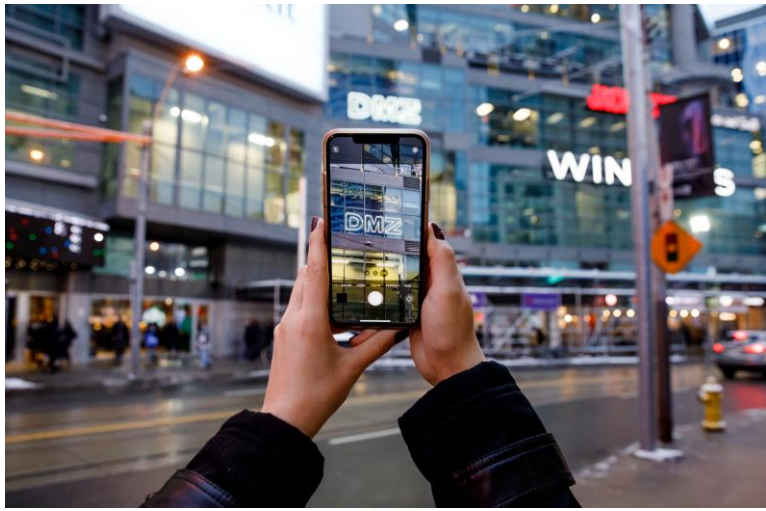
DMZ

DMZ

DMZは、カナダ・トロントを拠点とする世界有数のスタートアップ支援機関です。これまでに2,450社以上のスタートアップを支援し、累計で約29.5億ドルの資金調達と25,300人以上の雇用創出を実現しています。

将来性の高いスタートアップに対し、事業フェーズに応じたきめ細やかな支援、業界メンターによる実践的なアドバイス、そして北米・世界各地の投資家・パートナーへのアクセス機会を提供。スケールアップおよび海外展開を後押しする体制を整えています。

現在、DMZは世界15カ国以上に拠点を持ち、起業家が多様な市場に進出し、グローバルな視点でイノベーションを加速できる環境を提供しています。



02 PROGRAM STRUCTURE ｜ プログラム構成 – 支援機関の紹介

★主なメンター一覧

Scott Kaplanis
Managing Partner
at GroundBreak Ventures

Tyler Ashby
Partner at Partner
at GroundBreak Ventures

Karen Hogg
Expert-in-Residence at DMZ
Customer Success

Shilpa Mandhan
Expert-in-Residence at DMZ
Customer Success and GTM Strategy

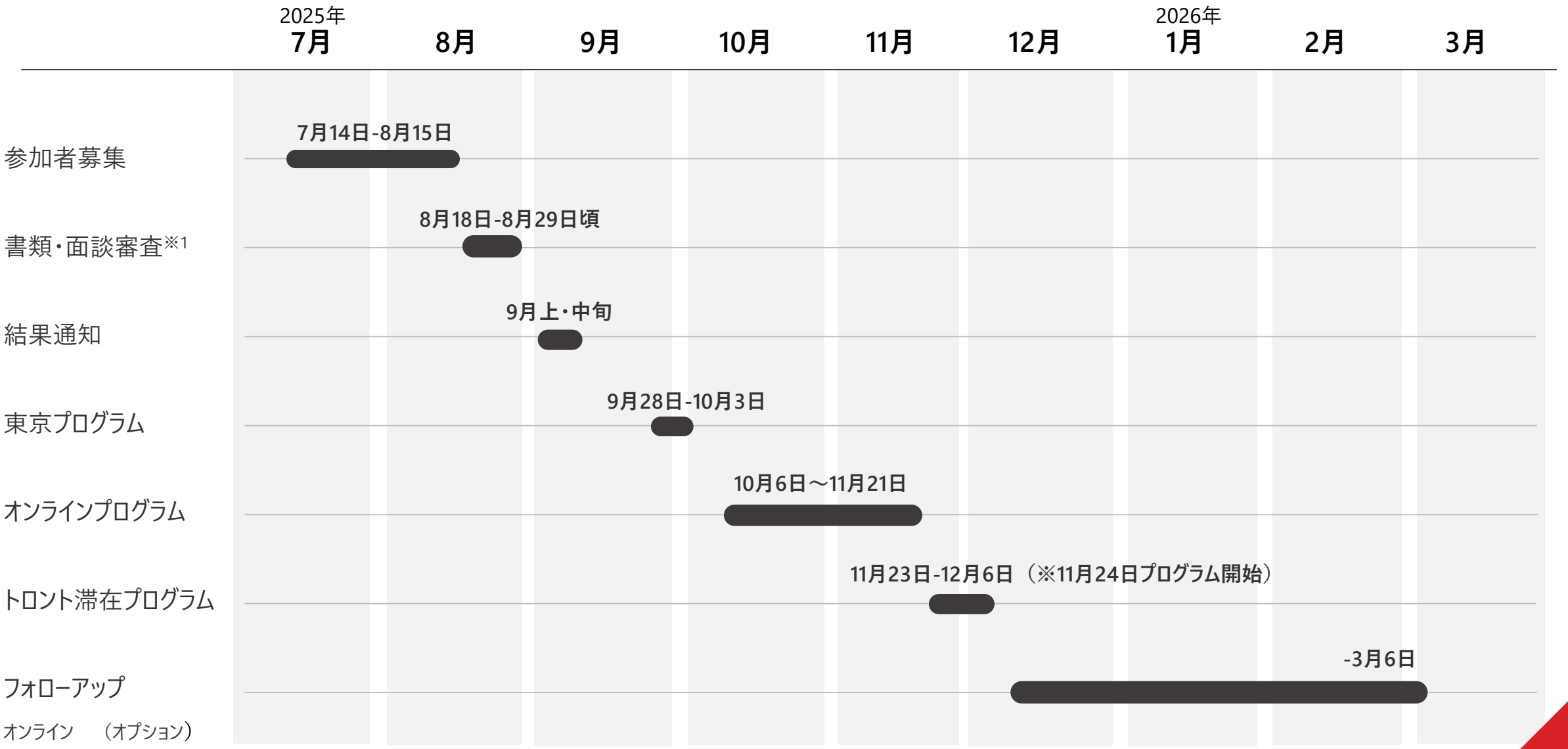
Tai Silvey
Expert-in-Residence at DMZ
Business Strategy

Rafael Antiquera
Expert-in-Residence at DMZ
Growth Strategy

Andrew Ricchetti
Expert-in-Residence at DMZ
AI, Analytics, Data Science

Frank Erschen
Expert-in-Residence at DMZ
Pitch Coaching

03 SCHEDULE ｜スケジュール（予定）



※1 必要に応じて面談を実施します。面談日程等は後日連絡します

04 ELIGIBILITY AND APPLICATION REQUIREMENTS｜対象者・応募要件

定員

- 10社（プログラム実施最小決行社数：5社）

  東京・オンラインプログラム：1社原則2名迄

  トロント滞在プログラム：　　1社原則1名迄

主な対象

対象企業	カナダ・北米進出を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	プレシード～レイター―ステージ ※ミドル～レイターステージを優先
分野	①ハウジング/建設テック　または　②モビリティ
その他	• 海外展開における意思決定が可能な方（CXOクラスまたは海外事業責任者の方）がプログラムを通じて参加が可能なこと • 北米市場への進出を目指し、11月23日～12月6日にカナダ（トロント）での滞在が可能なこと

応募要件

プログラム参加者は以下の全ての条件を満たすこと

1. 日本に活動拠点のある日系スタートアップに所属するCXOクラスもしくは海外事業責任者の方

   ※日系スタートアップに所属する方である限り国籍は問わない。ただし、トロント滞在にかかるビザはプログラム参加者自身が手配すること。もし手配ができなかった場合、ジェトロは責任を負わない。

2. 英語でのメンタリング・ピッチイベントの参加、商談が可能なこと
3. 潜在パートナーに提示するプロダクト/サービスを有すること
4. **プログラム期間中・終了後のヒアリング・アンケート等に必ず協力いただけること**
5. 本プログラムが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方

   ※J-StarXプログラムは経済産業省・ジェトロが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや実施過程でのヒアリングを実施します

04 ELIGIBILITY AND APPLICATION REQUIREMENTS｜対象者・応募要件

有望な分野

ハウジング/建設テック　カナダにおける住宅課題解決に寄与する特に以下の分野。

- **建設技術・生産性：** モジュラー建設、プレハブ化、ロボット工学、自動化、デジタルツインによる住宅開発のスピード、コスト効率、品質の向上。
- **スマートビルディング・エネルギー効率の高いシステム：** IoT対応インフラ、予測的メンテナンス、ビル自動化、エネルギー効率の高いシステムにより、運用コストを削減し、入居者の体験を向上。
- **持続可能な住宅・クリーンテック：** ネットゼロ目標をサポート、温室効果ガス排出量を削減、持続可能な建材と再生可能なエネルギーシステムの統合ソリューション。
- **ビル・不動産管理ツール ：** テナントおよびリース管理プラットフォーム、デジタル・メンテナンス・トラッキング、住宅ストックの運用効率を高めるツール。
- **データ分析、AI、意思決定支援 ：** 住宅価格モデリング、需要予測、政策立案者や住宅供給者のためのデータ主導の意思決定用ツール
- **土地利用・都市計画テック ：** ゾーニング、土地開発分析、手頃な価格の住宅供給をサポートする都市計画を強化するプラットフォーム。
- **共同生活、空間最適化、共有住宅モデル：** 共有住宅、アダプティブ・リユース、多世代居住など、手頃な価格と都市密度に対応する革新的な居住モデル。
- **設計と建設のためのVR/AR：** 建設プロジェクトを可視化する没入型ツール。バーチャル・ウォークスルー、検査、共同設計を可能にする。

モビリティ　TTC（トロント交通局）、Greater Toronto Airports Authority （トロントピアソン国際空港を運営するカナダの非営利団体）、Ontario Vehicle Innovation Network （OVIN）が優先課題としている以下の分野。

- **コネクテッド＆自律走行車（CAV）**
- **EVインフラ＆充電ソリューション**
- **MaaS (モビリティ・アズ・ア・サービス）プラットフォーム**
- **空港オペレーション＆乗客体験ソリューション**
- **都市交通の最適化**
- **AIを活用した交通＆セキュリティソリューション**
- **国境を越えたモビリティ・ロジスティクス**　など。

05 COST-BEARING｜費用負担

参加者による費用負担

- 東京プログラム参加時の交通費・宿泊費
- トロント渡航費（航空券）
- トロントでの移動交通費、飲食費、通信費、VISA代、海外旅行保険費などのその他発生する費用
- その他「主催者ジェトロによる費用負担」以外のすべての費用

主催者による費用負担（現物支給）

- メンタリング・ワークショップ・イベント開催等の各種プログラム料
- トロント滞在プログラム実施期間中の参加者1社1名分の宿泊費（11月23日～12月6日迄）

※ 上記は全てジェトロにて直接手配します。参加者に上記費用を支払うものではありません。

06 SELECTION PROCESS・CRITERIA｜選考プロセス・基準

J-StarX

参加者募集

書類審査

面談審査※1

東京プログラム

オンラインプログラム（1ヶ月）

トロント滞在プログラム

フォローアップ

（最長2026年3月6日迄）

（オプション）

※1 面談審査（オンライン）の日程は、必要に応じて、応募者へ後日連絡します。

選考基準

- メンターならびにジェトロがサポート可能であること
- 本プログラムの参加によって、スケールアップが見込まれること
- 技術主導であり、製品、技術、サービスアイデアの新規性や競争優位性があること
- バリュープロポジションが明確であること
- ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- 市場需要を証明するトラクションがあること
- 海外展開に適したチーム構成であること
- パートナーと連携・協力するための方法、条件が明確であること
- 原則、他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと

J-StarX

応募フォーム

2025年8月15日(金) 17:00（JST）締切

- 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
- 書類審査に加えて、必要に応じて面談審査（オンライン）も実施します
- 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください
- 別途、ピッチデック資料（英語）の提出が必要です
  （形式・方法等は次ページ以降参照）
- 誓約書とパスポートの写真が掲載されたページのコピーが必要となるため、お手元にご用意ください。詳細は採択者に別途ご案内いたします

ピッチデック資料の提出方法・プロセス

Step 1

当プログラムへの参加登録

前頁の応募フォームからお申し込みください

Step 2

ピッチデック格納（アップロード）

作成したピッチデック資料を指定の格納先（※右側記載の通り）へ提出ください

■ピッチデック資料の格納先はこちら

※ 添付URLフォームでの提出が難しい方は、JHUB@jetro.go.jp 宛にメールにてご提出ください

※ メールの件名は「TorontoProgram_**企業名**_**名前**」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください
（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）

※ 原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換

ピッチデック資料作成にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ ピッチデック資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、最大6ページでご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（**ファイルサイズは3MB以下**）
- ファイル名は「**TorontoProgram_企業名_名前.pdf**」としてください
  （名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）
- **2025年8月15日(金) 17:00（JST）まで**にご提出ください

■ ピッチデック資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の4項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

1. 解決したい社会課題・その解決策の提示
2. プロダクト/サービスの概要・技術（写真や図、文章を用いて）
3. 事業の拡大戦略
4. プロダクト/サービスにおけるアピールポイント・強み

※資料は**英語**でご作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

08 NOTES｜注意・免責事項

1. 本プログラムの参加費用支援は、原則1社1名までとなります（自社負担での同行については問題ありません）
2. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにも、メンターおよびジェトロ職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします。
3. 本プログラムの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください。
   （公開内容は事前に確認を行います）
4. 原則、他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと

免責事項

免責事項をよくお読みの上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、同意書ご提出後のキャンセルは認められません
宿泊費についてキャンセル料、もしくは変更料がジェトロに発生する場合は自社にて負担いただきます
キャンセル料発生日：正確な期限は後日参加者にアナウンスします

09 CONTACT｜お問い合わせ

コース名	PropTech & Mobility Program (Toronto)
実施機関	ジェトロ イノベーション部／スタートアップ課
担当者	加峯、園田

▼お問い合わせフォームはこちら

https://forms.office.com/r/RvHBLxG6BF